

みっつの輪

みつわ台総合病院ニュース
VOL.107

INDEX

- 当院に特定看護師が誕生しました！～特定看護師が特定行為を実施しています～ …… 1～2
- 服薬するときの飲み物って何がいいの？ …… 3
- 病院からのお知らせ …… 4

Webサイトでも
閲覧できます



当院に特定看護師が誕生しました!

～特定看護師が特定行為を実施しています～



『特定行為』をご存じですか？まだ聞き馴染みのない方も多くいらっしゃると思います。特定行為とは、厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修を修了した看護師が、あらかじめ医師と共に作成した「手順書（医師の指示）」により診療の補助（特定行為）を実施することです。

当院ではこの研修を修了した特定看護師が4月から特定行為を実施しています。

特定看護師が特定行為を実施しています

特定行為とは
厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」による、事前に医師と共同して作成した「手順書（医師の指示）」により、あらかじめ医師と共に作成した「手順書（医師の指示）」により診療の補助（特定行為）を実施することです。

専門的な知識と技術が必要とされる
診療の補助（特定行為）の研修を受けた看護師が
医師の指示を受けて安全に行っています。

当院で実施している特定行為は以下の項目です

- ・ 気管カニューレの交換
- ・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
- ・ 接続ろカテーテルの交換
- ・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
- ・ 褥瘡又は褥瘡性創傷の処置における血流の悪い壊死組織の除去
- ・ 創傷に対する浸透性療法
- ・ 創傷ドレーンの除去
- ・ 褥瘡治療中の圧力リリー指輪の装着と脱着
- ・ 褥瘡処置に対する薬物の投与

特定行為に同意をされない場合は、
患者相談窓口（南館1階 精密受付窓口）までお申し出ください

特定行為を実施する際には、事前にご説明した上で実施いたします。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

<特定行為に関するご相談、お問い合わせ>
患者相談窓口（南館1階 精密受付窓口） 月～金 9:00～17:00
土 9:00～12:00

担当者：田中 尚郎、中根 清枝
医療法人社団創進会 みつわ台総合病院

【院内掲示中のポスター】

● なぜ特定看護師が必要な？

日本は現在、65歳以上の高齢者の割合が29.1%（出典：内閣府 令和6年版高齢社会白書）となり、超高齢社会の真っ只中にあります。2025年には人口の5人に1人が75歳以上の後期高齢者になると予測されていることから医療資源の限界が懸念され、国の政策として入院医療のあり方の見直しと在宅医療の推進を目指しています。加えて、働き手としての医師や看護師不足も課題とされています。こうした背景の中で、特に看護師の役割拡大が重要な時代となり、特定行為研修制度を終了した『特定看護師』が求められるようになりました。難易度の高い診療の補助業務を、医師とあらかじめ作成する「手順書」という指示のもと実践することで、入院でも在宅でも医師の到着を待たず、患者さんの症状に合わせて迅速な適切な処置ができるため症状が悪化せず、患者さんにとっても医療者にとってもメリットが大きいのです。

● 今までと何が違うの？

特定看護師が特定行為を実施するメリットは、常に患者さんの傍にいる看護師が状態を的確に判断し迅速に適切な対処を行うことで患者さんをお待たせすることなく、病状悪化予防や負担軽減に繋がることにあります。

例えば、呼吸のために首にチューブ（気管カニューレ）を入れておられる患者さんは、痰などの分泌物でカニューレが閉塞してしまった場合は窒息してしまうため、迅速にカニューレを交換する必要があります。特定看護師が迅速にカニューレを交換することが出来れば医師の到着を待つことなく、安定した呼吸管理を行うことができます。



具体的な変更点の例



● **どんなことをするの？**

当院の特定看護師が実施している診療の補助（特定行為）は以下の9項目です。

気管カニューレの交換	呼吸のために首にチューブ（気管カニューレ）を入れておられる方の交換を行います
胃ろうもしくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	胃ろうや腸ろうを造設された方のチューブまたはボタンの交換を行います
膀胱ろうカテーテルの交換	排泄のために膀胱ろうを造設された方のカテーテル交換を行います
末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	腕から心臓近くの太い血管（中心静脈）に向け点滴用の管を入れます
血流のない壊死組織の除去	血流がなく壊死している軟部組織を除去（切除）します
創傷に対する陰圧閉鎖療法	創傷を専用の被覆材で覆い、小さな機械で陰圧をかけることで治癒期間の短縮化を図ります
創部ドレーンの抜去	手術や処置後、皮膚に入っている管を抜去します
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	栄養剤として投与されている高カロリー輸液の投与量を状態に合わせて調整します
脱水症状に対する輸液による補正	脱水時、状態に合わせて点滴での水分投与量を調整し脱水の改善を図ります

● **特定行為を受けるにはどうしたらいいの？**

特定行為については、個別の行為毎に同意を得ることなく、『院内掲示ポスター・病院ホームページ・入院のご案内』の文章をもってご了承（包括同意）いただいたものと判断させていただいておりますので、お申し出いただく必要はございません。特定行為への同意はいつでも拒否することができます。ご同意頂けない場合は、相談窓口（南館1階 新患受付窓口）までお申し出ください。ご同意いただけない場合であっても、治療および看護上の不利益を被ることはありません。



当院で初めての特定看護師ですので、まずは患者さんや地域のみなさまに知っていただくことが一番だと考えております。これまで皮膚・排泄ケア認定看護師として培ってきた専門性に医学的視点が加わったことで、『患者さんに寄り添ったより良い医療とは何かを考え提供する力』が向上したと感じています。今後も多職種チームの一員として、患者さん・ご家族の安全性の高い医療を迅速に提供することを目指し取り組んでまいります。

みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 金子 亜由美

出典：看護師の特定行為研修 ポータルサイト 看護師の特定行為研修制度 (tokutei-nurse-council.or.jp)

医療現場の素朴なギモン 13



服薬するときの飲み物って何がいいの？

お薬はお水で飲む、とは聞いてはいるものの…。「お水は嫌いなんだよね」、「食後のお茶でいいでしょう」「飲み物がなくても大丈夫だよ」など、それぞれのタイミングや気分で、何気なく服薬をしている方が大半です。そこで、今回は「服薬の時の飲み物」について考えてみましょう。

○服薬する時の飲み物の基本って？

一般的に、内服薬は「コップ一杯（180～200cc）の水かぬるま湯で飲む」と、されています。そうすることで、薬が胃の中で壊れて吸収されやすくなります。水なしでは薬は壊れにくくなり、効き目が遅くなったり、低下したりすることがあります。また、水の量が少なければ、薬が食道に張り付いてしまい、炎症などを起こす危険があります。

口腔内崩壊錠（唾液だけでも飲める薬、OD錠）は上記のような危険はありませんが、薬の成分は口腔内から吸収するわけではないので、しっかりと胃の中へ落とし込む必要があります。しっかりと効果を出すために、服用後には水を飲むようにしましょう。

ただし水分を摂り過ぎないように指導されている場合は、医師の指示に従って飲んでください。

○水以外はいけないの？

水以外の飲み物で飲むと、薬の効果への影響や、副作用が出やすくなる可能性があります。

ジュースや牛乳などで服用すると、薬によっては効き目が変わってしまうリスクが生じます。例えば、グレープフルーツジュースであれば、その含まれる成分が、薬の代謝に影響を与え、薬物の血液中の濃度（血中濃度）を上昇させてしまうことがあります。そうすると、薬によっては血圧の低下、頭痛、めまいなどの症状を引き起こしかねません。また、アルコール飲料での服薬も薬の作用への影響、副作用が起こりやすくなる危険性があります。

以前はお茶での服用はよくないと言われていた時期もありましたが、最近は問題ないとされています。しかし、玉露のような濃いお茶は避けてください。

このように、思わぬトラブルを生じるおそれがあるので、薬は水で飲むようにしましょう。



○お子さんが薬を飲まないときは

薬を飲むのが嫌いなお子さんには、薬の苦みや風味をカバーするため、嚥下補助ゼリーやジュース、ココアなどの使用を、メーカーがその薬剤ごとの特性を鑑みてアドバイスをしています。

例えば、一部の抗生剤などには、オレンジジュースなどの酸性の食品に混ぜると、苦味を感じやすくなるものがあります。そこで、ココア、アイスクリームなどを合わせるようにお勧めしています。しかし、アイスクリームなどにお薬を直接混ぜた場合、その全量食べる必要があるため、量の調節も必要です。

コップ一杯の水やぬるま湯で服用を。飲みづらい場合や、気になる点は薬剤師にご相談を

参考 日病薬誌 第41巻 11号 (2005) 1415-1419

来院時のお願い

～手指消毒と検温にご協力ください～

西館及び東館入口自動ドア前に、カメラによる自動検温機と自動噴霧アルコール消毒機を設置いたしました。ご来院の際には検温と手指消毒のご協力をお願いいたします。

感染対策へご協力をお願いいたします
みつわ台総合病院感染対策委員会

面会について

面会中止のお願い

「新型コロナウイルス」感染流行を受け、**全面的に面会を中止**しております。
皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

◆病院からの依頼（病状説明・手術・入退院など）があった方のみ、面会が可能となります

○患者さんに着替え等のお届け物がある方は、下記の時間のみ、西南館総合受付窓口にてお預かりいたします
〈月～金（祝・祭日を除く）15:00～17:00〉

感染予防の為、貴重品及び、寝具・布類はお預かり出来ないものがあります。ご了承ください



面会には許可証が必要です

御面会の方には『面会許可証』を着けていただくことになりました

■受付場所 南館1階
緊急時は受付または看護師へご相談ください

■面会までの流れ

- ①1F受付で面会カードを記載してください
- ②面会許可証を首から下げてください
- ③ナースステーションに声をかけてください
- ④ご面会（1F受付にてタイマーをお渡ししますので時間厳守にてお願い致します）
- ⑤ご帰宅の際は面会許可証とタイマーを1F受付にご返却ください



◆お子様（中学生以下）の方のご面会にご遠慮ください

ご理解とご協力をお願い致します
医療法人社団創会みつわ台総合病院院長

おねがい

院内では、『マスク着用』をお願い致します。



R5年3月13日よりマスク着用が個人の判断となりましたが当院の方針として『受診・入院・面会の方はマスク着用』を求めさせていただきます。
みつわ台総合病院感染対策室

入院病棟でwi-fiが利用開始になりました。

令和6年1月15日から全入院病棟にて、「Wi-Fi」の利用が可能となりました。
変更に伴い、現在のテレビカードによるお支払いが廃止となり、テレビ・冷蔵庫の利用を含め、1日定額制を導入致しました。
詳細は入院担当までお尋ねください。



健康管理センターのご案内

健康管理センターでは各種健康診断を実施しております。

- ・人間ドック 生活習慣病予防や病気の早期発見を目的としています。
- ・生活習慣病健診 全国健康保険協会（協会けんぽ）に加入している被保険者の方の健康診断です。
- ・一般健診 定期健康診断・雇用時健康診断・有機溶剤、特定化学物質健康診断 など
- ・千葉市受診券利用 特定検診・がん検診

当院の人間ドックに全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防検診（一般健診）の補助がご利用できます。詳細は下記へ問合せ下さい

健康管理センターお問い合わせ

TEL：043-254-3201

月～金8:30～17:00（土8:30～12:30）

院内イベントのお知らせ

++ 健康教室のお知らせ ++

健康寿命を延ばすことにも関係のある「ロコモティブシンドローム」のチェックと予防効果の期待できる運動を一緒に行いませんか？

● ロコモ予防のための健康行動2024

● 開催日時：令和6年9月7日（土）
14:00～15:00予定

- 場 所：外来ロビー
- 定 員：30名まで
- 参 加 費：無料
- 講 師：リハビリテーション科 療法士

※当日はズボンなど動きやすい服装でおこください。
なお、新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる可能性がございます。予め、ご了承ください。



上記内容は、今後変更になる場合がございます。適宜、HP・院内掲示にてお知らせいたしますが、ご不明の際はお問い合わせください。



基本理念

高い徳性と深い知性を培い
生命の尊厳に寄与する

基本方針

1. 医療を通じて地域社会に貢献します
2. 個人の尊厳を尊重した医療を実践します
3. 常に最先かつ最適な医療を提供します

受付時間	午前 8:30より12:00まで	
	皮膚科(木曜)	
	形成外科(土曜)	8:30より11:00まで
	脳神経外科(土曜)	
	内科(土曜)	
	耳鼻咽喉科(土曜)	新患のみ8:30～11:00 新患以外8:30～11:30
	午後 13:30より16:30まで	
	糖尿外来(水曜)	13:30より14:30まで
	皮膚科(木曜)	13:30より16:00まで
	婦人科(金曜)	13:30より15:30まで
脳神経外科(月曜・水曜・木曜)	15:30より16:30まで	
	※新患に限る	

2科以上
受診の場合は
受付終了
30分前
まで

千葉市若葉区若松町531-486
☎043-251-3030 (代)
ホームページアドレス
<http://www.mitsuwadaiyoin.or.jp>



スマートフォンの
方はこちらから
UD FONT
みつわ台病院
ニュースでは、
UDフォントを
採用しています
ユニバーサルデザイン(UD)
の考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。



人間ドック健診施設
機能評価認定病院

日本医療機能評価
機構認定病院